



平成 28 年 1 月 13 日

各 位

会社名 イワキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩城 修
(コード番号 8095 東証第一部)
問合せ先 取締役経理財務部長 熱海正昭
(TEL. 03-3279-0481)

(訂正)「平成 25 年 11 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 10 月 10 日に開示いたしました表記開示資料について、一部訂正を行いましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 28 年 1 月 13 日付「過年度の決算短信等の訂正並びに有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月10日

上場会社名 イワキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8095 URL <http://www.iwaki-kk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩城 修
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 熱海 正昭 TEL 03-3279-0481
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第3四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	38,743	0.9	795	△2.2	895	△0.5	552	25.4
24年11月期第3四半期	38,404	△4.9	813	△21.3	900	△17.6	440	△70.2

(注) 包括利益 25年11月期第3四半期 871百万円(62.0%) 24年11月期第3四半期 538百万円(△67.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第3四半期	16.36	—
24年11月期第3四半期	13.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年11月期第3四半期	36,560	16,439	45.0	486.68
24年11月期	35,185	15,771	44.8	466.83

(参考) 自己資本 25年11月期第3四半期 16,439百万円 24年11月期 15,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年11月期	—	3.00	—		
25年11月期(予想)				3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,200	2.4	900	△20.1	980	△24.2	600	△17.6	17.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。
詳細につきましては、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照願います。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年11月期3Q	34,147,737株	24年11月期	34,147,737株
② 期末自己株式数	25年11月期3Q	367,835株	24年11月期	362,348株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年11月期3Q	33,782,672株	24年11月期3Q	33,788,197株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年12月1日～平成25年8月31日）におけるわが国経済は、昨年の政権交代を機に積極的な金融緩和政策への期待が高まり、円高の是正や株式市場の持ち直しが見られました。しかしながら、円安などによる原材料価格上昇の影響もあり、欧州における財政問題や新興国経済の成長鈍化などを背景に、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループでは、事業基盤・事業規模の強化、拡大および収益構造改善を基本戦略としたグループ中期経営計画に基づき、海外サプライヤーとの連携強化や自社企画による商品の開発など、多様化・高度化するお客様のニーズへの対応力強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は387億4千3百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は7億9千5百万円（同2.2%減）、経常利益は8億9千5百万円（同0.5%減）、四半期純利益は5億5千2百万円（同25.4%増）となりました。

次にセグメントの概況につきご報告申し上げます。

【医薬品事業】

医療用医薬品は昨年4月の薬価改定の影響を受けながらも、一般名処方加算などの後発医薬品使用促進策の追い風もあるなか、医療機関・調剤薬局へのさらなる情報提供活動に注力いたしました。その結果、ジェネリック医薬品の外皮用剤は生産ラインの効率化と昨年末に発売した新製品の拡大もあり大幅に伸長いたしました。また、受託品も好調に推移いたしました。

一般用医薬品はドラッグストアをはじめとした小売企業がOTC医薬品のネット販売の規制緩和に対応してPB商品をはじめとした商品政策を強化するなか、新規商品および仕入先の開拓に注力いたしました。その結果、主力のドラッグストア向けに新規取扱商品が伸長いたしました。また、ビタミンC原末や提携品の外皮用剤は堅調に推移いたしました。また、うがい薬は低調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は126億3千2百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は1億1百万円（同264.9%増）となりました。

【医薬品原料・化粧品原料事業】

医療用医薬品原料はジェネリック医薬品原料の需要に対応するため、設備投資や操業体制の強化による生産能力の増強に努めるとともに、ジェネリック医薬品原料開発に注力いたしました。その結果、ジェネリック医薬品原料は新規納入原料や抗アレルギー剤原料が堅調に推移いたしました。また、抗不整脈剤原料は主要顧客の需要が拡大し好調に推移いたしました。

一般用医薬品原料は輸入医薬品原料が為替の影響を受け低調となりましたが、主力の血管収縮剤は国内・海外ともに堅調に推移いたしました。また、去痰剤は需要が拡大し好調に推移いたしました。受託の新薬中間体は大幅に伸長いたしました。

化粧品原料は新規開拓の強化や主力販売品の拡大など積極的な営業活動に注力いたしました。その結果、大手ユーザー向けの原料は低調でしたが、受託の保湿剤原料は好調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は116億8千3百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は7億8千5百万円（同1.2%増）となりました。

【化成事業】

表面処理薬品はアジア地区の生産拠点を強化するとともに環境に優しい製品の拡販を積極的に展開いたしました。その結果、国内・海外ともにチップ部品向け薬品の販売が好調に推移いたしました。プリント配線板・電子部品関連薬品はスマートフォン、パソコンや液晶テレビなどの需要の落ち込みから低調に推移いたしました。また、車載部品向け薬品はハイブリッド車向けが堅調に推移いたしました。

輸入品を中心とした化学品原料は特殊溶剤や汎用溶剤が堅調に推移したものの、表面処理薬品原料が低調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は58億6千1百万円（前年同期比11.6%減）、営業利益は4千3百万円（同70.9%減）となりました。

【食品原料・機能性食品事業】

食品原料は関連会社製品・天然調味料・農産加工品の拡販、新規納入に注力いたしました。その結果、新規納入の成果はあったものの、円安による輸入原料価格上昇の影響を受け、全体的に低調に推移いたしました。

サプリメント原料は自社原料の新規納入に努めるとともに、通信販売会社、製造受託会社への提案活動、新規顧客開拓に注力いたしました。その結果、美容・エイジングケアを訴求した原料は堅調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は56億9千2百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は2億7千万円（同14.6%減）となりました。

【その他の事業】

当事業全体の売上高は28億7千3百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は5千万円（同187.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産365億6千万円（前連結会計年度末比13億7千5百万円増）、負債合計201億2千万円（同7億7百万円増）、純資産は164億3千9百万円（同6億6千7百万円増）となりました。

総資産の増加の主な理由は、現金及び預金の減少11億5千1百万円、受取手形及び売掛金の増加9億2千万円、電子記録債権の増加1億9千9百万円、商品及び製品の増加9千7百万円、仕掛品の増加2億7百万円、原材料及び貯蔵品の増加9千万円、投資有価証券の増加9億6百万円によるものです。負債合計の増加の主な理由は、支払手形及び買掛金の増加1億2千4百万円、電子記録債務の増加4億3千万円、短期借入金の増加2億4百万円によるものです。純資産の増加の主な理由は、利益剰余金の増加3億5千万円、その他有価証券評価差額金の増加2億7千8百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年11月期の業績予想につきましては、平成25年7月5日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更
（減価償却方法の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,327,091	3,175,804
受取手形及び売掛金	13,956,067	14,877,046
電子記録債権	294,086	493,450
商品及び製品	3,052,608	3,149,719
仕掛品	740,538	947,580
原材料及び貯蔵品	592,081	682,189
その他	764,744	817,561
貸倒引当金	△55,088	△48,460
流動資産合計	<u>23,672,129</u>	<u>24,094,891</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,049,019	8,061,170
減価償却累計額	△5,283,668	△5,408,802
建物及び構築物(純額)	<u>2,765,350</u>	<u>2,652,368</u>
機械装置及び運搬具	7,200,654	7,323,512
減価償却累計額	△6,603,869	△6,637,727
機械装置及び運搬具(純額)	<u>596,784</u>	<u>685,784</u>
土地	3,419,539	3,419,539
その他	2,424,819	2,575,132
減価償却累計額	△1,727,030	△1,860,205
その他(純額)	<u>697,789</u>	<u>714,927</u>
有形固定資産合計	<u>7,479,464</u>	<u>7,472,620</u>
無形固定資産	340,781	357,838
投資その他の資産		
投資有価証券	2,530,847	3,437,140
その他	<u>1,391,263</u>	<u>1,433,556</u>
貸倒引当金	<u>△229,468</u>	<u>△235,823</u>
投資その他の資産合計	<u>3,692,642</u>	<u>4,634,873</u>
固定資産合計	<u>11,512,887</u>	<u>12,465,331</u>
資産合計	<u>35,185,016</u>	<u>36,560,223</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,118,349	9,242,493
電子記録債務	2,295,705	2,725,757
短期借入金	2,362,000	2,566,000
未払費用	1,172,816	767,472
未払法人税等	239,271	151,888
その他	538,305	939,032
流動負債合計	<u>15,726,447</u>	<u>16,392,645</u>
固定負債		
長期借入金	1,315,500	1,190,000
退職給付引当金	1,603,564	1,648,389
その他	767,543	889,293
固定負債合計	<u>3,686,607</u>	<u>3,727,682</u>
負債合計	<u>19,413,055</u>	<u>20,120,328</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,382	2,572,382
資本剰余金	4,206,965	4,206,965
利益剰余金	<u>8,815,926</u>	<u>9,165,983</u>
自己株式	△81,048	△82,188
株主資本合計	<u>15,514,225</u>	<u>15,863,143</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	308,644	587,154
繰延ヘッジ損益	7,051	7,324
為替換算調整勘定	△57,960	△17,727
その他の包括利益累計額合計	<u>257,735</u>	<u>576,751</u>
純資産合計	<u>15,771,961</u>	<u>16,439,894</u>
負債純資産合計	<u>35,185,016</u>	<u>36,560,223</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
売上高	38,404,058	38,743,916
売上原価	30,245,724	30,637,128
売上総利益	8,158,334	8,106,788
販売費及び一般管理費	7,344,446	7,310,899
営業利益	813,888	795,889
営業外収益		
受取利息	3,484	4,505
受取配当金	32,475	35,888
受取賃貸料	56,808	62,298
受託研究収入	48,067	49,638
その他	55,853	61,101
営業外収益合計	196,689	213,431
営業外費用		
支払利息	37,941	32,133
持分法による投資損失	9,146	8,552
賃借料	26,280	32,850
その他	37,132	40,429
営業外費用合計	110,500	113,964
経常利益	900,077	895,356
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,886
固定資産売却益	86,330	—
特別利益合計	86,330	1,886
特別損失		
固定資産売却損	2,555	—
固定資産処分損	8,745	16,476
投資有価証券売却損	2,223	—
投資有価証券評価損	2,472	—
ゴルフ会員権評価損	3,260	—
特別損失合計	19,255	16,476
税金等調整前四半期純利益	967,152	880,766
法人税、住民税及び事業税	434,737	352,693
法人税等調整額	91,749	△24,699
法人税等合計	526,487	327,994
少数株主損益調整前四半期純利益	440,664	552,772
四半期純利益	440,664	552,772

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>440,664</u>	<u>552,772</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98,907	277,553
繰延ヘッジ損益	△1,117	272
為替換算調整勘定	813	40,232
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,108	957
その他の包括利益合計	<u>97,494</u>	<u>319,015</u>
四半期包括利益	<u>538,159</u>	<u>871,787</u>
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>538,159</u>	<u>871,787</u>

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年12月1日 至平成24年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品	医薬品原料・化粧品原料	化成品	食品原料・機能性食品	計				
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	12,320,190	10,735,873	6,632,557	5,771,669	35,460,291	2,943,767	38,404,058	—	38,404,058
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	78	261,889	—	—	261,968	7,879	269,848	△269,848	—
計	12,320,268	10,997,763	6,632,557	5,771,669	35,722,260	2,951,647	38,673,907	△269,848	38,404,058
セグメント利益	27,832	775,903	148,945	316,914	1,269,595	17,457	1,287,052	△473,164	813,888

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等の販売、プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△473,164千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△474,322千円および棚卸資産の調整額1,158千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品	医薬品原料・化粧品原料	化成品	食品原料・機能性食品	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	12,632,818	11,683,112	5,861,559	5,692,599	35,870,091	2,873,825	38,743,916	—	38,743,916
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	31	348,846	—	—	348,878	9,043	357,922	△357,922	—
計	12,632,850	12,031,959	5,861,559	5,692,599	36,218,970	2,882,869	39,101,839	△357,922	38,743,916
セグメント利益	101,572	785,284	43,359	270,628	1,200,844	50,214	1,251,059	△455,169	795,889

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等の販売、プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△455,169千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△453,329千円および棚卸資産の調整額△1,840千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。